

さらに最近、会社や官庁、大学や研究所に至るまで、業務や研究でねつ造や改ざんが行われていることが報道され、規則がさらに厳しくなる傾向にあります。厳しい規則は必要なことかもしれませんが、私たちは、職業人たるもの、不正を行わないという消極的な姿勢で「善い仕事」は生まれにくく、やはり業務や研究を行う人のそれぞれが、自分の頭で適切な行為は何かを判断して行動することが大事ではないかと考えています。同時に、このような積極的な姿勢があつてこそ、責任をもった行動と言え、「善い仕事」ができるのではないかと思います。

もう一つは、職業人は、自分自身の身を健全に保つために、独立性を保ち、自律的に活動することが求められるからです。職業人は、企業や官庁などで実務を担当する人から、研究・教育施設で研究や教育に従事する人まで多岐にわたります。中でも、営利組織で活動する職業人は、組織の利益を優先する方向に有形無形の圧力がかかることがあります。また、年齢や職位などを尊重する慣習の中で、提案が封じられたり意見が言いにくかったりして、職業人として正当な職務を遂行しようとした際に不利な立場に立たされたり、職や地位を失ったりする可能性もあります。職業人が自分や組織の利益を優先した行動をしたことが明らかになれば、組織全体に対する市民の信頼を失い、社会全体の利益を損なうことにもなります。

さらに、今は技術の進歩や時流の変遷が早く、変化の度合いも大きいので、既存の原則や基準などでは時流に合わないことも多く、個々の原則や価値の相克の間でどちらかの選択を迫られることもあります。職業人は、時々の状況に応じた適切な判断と行動が求められることになり、このためには自らがどうふるまうかを判断する拠りどころとなる基準、すなわち、自分の使命や、使命を達成するために守るべき価値観を持っていることが必要です。これはプロフェッショナルイズムの核心部分を成し、状況が変化しても変わらないものであり、他者から与えられるものでもなく、一人ひとりが内に持つべきものです。

このように、生きる基軸と行動基準を持っていれば、嵐に遭ってもめげることなく、闇夜の晩でも惑うことなく歩けるのではないかと思います。

マンダラチャートを使って、職業人としての「生きる基軸」を考えよう

「生きる基軸」をたてようと言われても、私たちは日頃「自分のありよう」とか、「生きる意味を満たすもの」など意識しておりませんので、いきなり言われても考えにくいですね。これらは、根底となる思想「自分は他者や社会にどのような責任があるのか」とか、「善いふるまい・善い仕事とは何か」、「プロの職業人はどうあるべきか」というあたりから出てくると思うので、問いかけを考えてみました。そして、ビジネスのツールとして知られている「マンダラチャート」なるものを使うことで、複数の点から考えることができ、全体を俯瞰しやすくなるので使ってみようと思い、提案するものです。

●問いかけと書き方のヒント

- A: あなたの強み、得意なことは? 寝食を忘れるくらい熱中できること、楽しくて(うれしくて)しかたがないことは?**
プロジェクトがうまく終わったとき、人から感謝されたとき、人の成長を見るとき…
- B: あなたがプロフェッショナルとして仕事をする上で大事にしてきたもの、これから大事にしたいものは?**
誠実さ、知慮、謙虚さ、勇気…
- C: 雇用者や研究資金スポンサーに対してどんな責任がありますか**
よい仕事をする、自分の意見を言う…
- D: 成果が帰結する人々(患者、市民など)や自然環境に対してどんな責任がありますか?**
他者や自然を傷つけることはしない、利益となることをする…
- E: あなたは家族、同僚・後輩、社会、あなたをこの世に送り出したもの(自然など)に対して、どのような責任がありますか**
家族を養う、後輩には教育をする…
- F: あなたは家族、同僚・後輩、社会、あなたをこの世に送り出したもの(自然など)から、どうあることを期待されていると思いますか**
誠実に仕事をする、日々を穏やかに過ごすこと、人生をまっとうすること…
- G: 「善い仕事」は何ですか。「善い仕事」を阻害する要因は何ですか。克服するには何が必要ですか?**
誠実な業務、自分の欲、業績を上げることの圧力が阻害する。意見が自由に言える環境が必要…
- H: あなたはプロフェッショナルとしてどうあることをよしとしますか?**
誰の何のために何をする…
- 中心核: あなたの生きる基軸は?**
A~Hを改めて見渡し、「私の強みは●であり、これを活かして▲を目的に、大事にしたい■という価値をもとに、◆について★をする」という文章にしてまとめてみましょう。

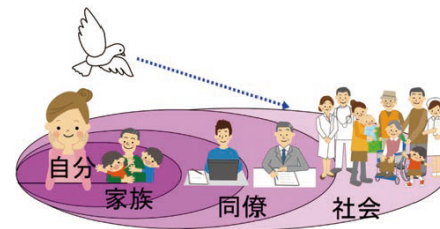
●マンダラチャートとは

マンダラチャートは、3×3の9つのマスで構成されており、松村寧雄さんという方が密教の金剛界曼荼羅を見て、情報やアイデアの整理に利用したもので、ビジネスの世界で使われているようです。最近、メジャーリーグの大谷翔平選手が作成したとのことで話題になり、ネット上でも紹介されています。

そして、松田充弘さんという「質問の専門家」は、真ん中のマスに解決したいテーマをいれて、まわりに質問をいれ、それに答えてもらうことでテーマの解決に近づく、という使い方を紹介しています。テーマは解決したい課題、たとえば、自分の悩みとか会社の問題など、何でもよく、質問もテーマに関係したものを考えて順番にいれていきます。

マンダラチャートの書き方

- 1) 幽体離脱して3mくらいの高さから、自分を含めてまわりを客観的に眺めてみましょう
- 2) AからHまで順に、記載します。最後に真ん中のマスを埋めます
- 3) じっくり時間をかけて考えてみてください。また、状況が変わった時々で、考えてみましょう。職場の同僚などと話合っても面白いです



*注: 行為を考える際、一般常識として「他者を傷つけること」をはじめ、公序良俗に反することははだめです。

生きる基軸たてるプロフェッショナル0.1版220609e佐藤恵子

F	家族・友人、社会、あなたをこの世に送り出したもの(自然など)から、どうあることを期待されていると思いますか?	C	雇用者や研究資金スポンサーに対してどんな責任がありますか?	G	「善い仕事」は何ですか。「善い仕事」を阻害する要因は何ですか。克服するには何が必要ですか?
B	あなたがプロフェッショナルとして仕事をする上で、大事にしてきたもの、これから大事にしたいものは何ですか?		あなたの生きる基軸は? 「私の強みは●であり、これを活かして▲を目的に大事にしたい■という価値をもとに、◆について★をする」	D	成果が帰結する人々(患者、市民など)や自然環境に対して、どんな責任がありますか?
E	あなたは、家族、同僚・後輩、社会、あなたをこの世に送り出したもの(自然など)に対して、どんな責任がありますか?	A	あなたの強み、得意なことは? 寝食を忘れて熱中できること、楽しくて(うれしくて)しかたがないことは?	H	あなたはプロフェッショナルとして今後、どうあることをよしとしますか。どのような人間でありたいですか。